

舞鶴工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	国際金融論Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0209		科目区分		一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	一般科目		対象学年		4		
開設期	後期		週時間数		2		
教科書/教材	奥田宏司,代田純,櫻 公人 (編)『現代国際金融 第3版 構図と解明』法律文化社,2016年						
担当教員	呉 青姫						
到達目標							
1 金融と現実の生活との関わりを理解する。 2 高度な金融に関する知識を身につける。 3 経済新聞の統計数字や記事を読み取れるようにする。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1		金融と現実の生活との関わりを十分に理解する。	金融と現実の生活との関わりを理解する。		金融と現実の生活との関わりを理解できない。		
評価項目2		高度な金融に関する知識を十分に身につける。	高度な金融に関する知識を身につける。		高度な金融に関する知識を身につけられない。		
評価項目3		経済新聞の統計数字や記事を十分に読み取れる。	経済新聞の統計数字や記事を読み取れる。		経済新聞の統計数字や記事を読み取れない。		
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 (E) 学習・教育到達度目標 (F)							
教育方法等							
概要		【授業目的】 国際金融の考え方・基礎理論の理解を通して、現代における国際金融市場の仕組みとメカニズムを学習する。また、金融の側面から世界経済の結びつきを理解できるようにする。 【Course Objectives】 The purpose of learning international finance is to think of the organizational systems and mechanisms in international financial markets by understanding the basic theory of international finance.					
授業の進め方・方法		【授業方法】 国際金融と実体経済のつながりを理解するために必要な経済学、金融論、国際経済学、国際金融論の基礎を学習する。授業では、経済新聞の記事や経済統計など身近な事例を取り上げながら講義する。一方的な講義ではなく、対話型の授業をするので、活発な発言・質問・議論への参加を期待する。 【学習方法】 事前に関連する部分のテキストを読んでおくことが望ましい。計算問題はその都度解けるようにする。国際金融問題の現実的な理解を深めるために、新聞の経済・金融面の記事を読む習慣を身につけることをお勧めする。					
注意点		【定期試験の実施方法】 前期・後期別に中間と期末試験を設けている。中間試験は課題提出、期末は筆記試験の形をとる。期末筆記試験の時間は50分。 【成績の評価方法・評価基準】 成績は100点満点である。授業中のパフォーマンス（10％）。中間試験（40％）。期末試験（50％）。 【履修上の注意】 【学生へのメッセージ】 国際金融論は、経済学、金融論、国際経済学に係わる分野ですが、予備知識は必要ありませんので興味のある学生諸君は気軽に参加してください。教養科目として社会科学の知識を得たい人や将来この分野に挑戦をしたいと考えている学生を特に歓迎いたします。 授業は現実の金融市場を理解するために新聞記事などをとりあげながら行い、また、課題報告の機会も設けますので活発な発言・質問・議論への参加を期待します。 【教員への連絡先】 研究室 非常勤講師室 内線電話 e-mail:					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	為替政策と金融政策の独立性		1 金融と現実の生活との関わりを理解する。		
		2週	為替制度のあらまし		1 金融と現実の生活との関わりを理解する。		
		3週	外国為替市場の長期的均衡		2 高度な金融に関する知識を身につける。		
		4週	外国為替市場の短期的均衡		2 高度な金融に関する知識を身につける。		
		5週	為替レート期待と外為市場の効率性		2 高度な金融に関する知識を身につける。		
		6週	外為市場介入とポートフォリオ・バランス		2 高度な金融に関する知識を身につける。		
		7週	為替レートと国際収支の調整		3 経済新聞の統計数字や記事を読み取れるようにする。		
		8週	後期中間試験				
	4thQ	9週	為替レートとマクロ経済		3 経済新聞の統計数字や記事を読み取れるようにする。		
		10週	国際資本移動と国際資本市場		2 高度な金融に関する知識を身につける。		
		11週	国際収支危機		2 高度な金融に関する知識を身につける。		
		12週	新しい国際通貨制度の枠組み		2 高度な金融に関する知識を身につける。		
		13週	国際協力		2 高度な金融に関する知識を身につける。		

		14週	模擬実践	3 経済新聞の統計数字や記事を読み取れるようにする。
		15週	総括	2 高度な金融に関する知識を身につける。
		16週	後期期末試験	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	出席率	合計
総合評価割合	90	10	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	90	10	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	0